

自然と共に生きる



## 事業計画及び成長可能性に関する事項



+



=



株式会社 フルッタフルッタ  
2023年12月更新  
(東証グロース：2586)



## 事業計画及び成長可能性に関する事項の更新趣旨

当社は、2023年11月13日開催の取締役会において、アサイーのアジアを中心とした海外事業展開と、新たな事業であるアグロフォレストリーを中心としたサステナブルマッチングプラットフォーム構築に向けた取り組みの開始を決議し、当該事業の資金調達のため、EVO FUNDを割当予定先とする第11回乃至第13回新株予約権及び第15回新株予約権、並びに当社代表取締役である長澤誠を割当予定先とする第14回新株予約権の発行を決議したことについて、ご説明を行うことを目的として更新することといたしました。

1. ビジネスモデル
2. 市場環境
3. 競争力の源泉
4. 事業計画
5. 2024年3月期の進捗及び今後の計画
6. リスク情報



# 1. ビジネスモデル



## アグロフォレストリーは 『生物多様性』と『CO<sub>2</sub>削減』を両立する ソリューション

「ネイチャーポジティブ」は、企業・経済活動によって生じる自然環境への負の影響を抑え「生物の多様性を維持する」という従来の発想から大きく踏み込んで、「生物多様性を含めた自然資本を回復させる」ことを目指す新たな概念であり、近年、企業経営において重要性を増しています。

# 事業の原点

## 『アグロフォレストリー』 —自然資本主義—



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

『アグロフォレストリー』は、アマゾンの荒廃した土地に、多様なフルーツや樹木を植えていく“森を作る農業”です。当社は経済の力で環境を再生する「自然資本主義」の実践企業として健康と環境に貢献する事業を推進しています。

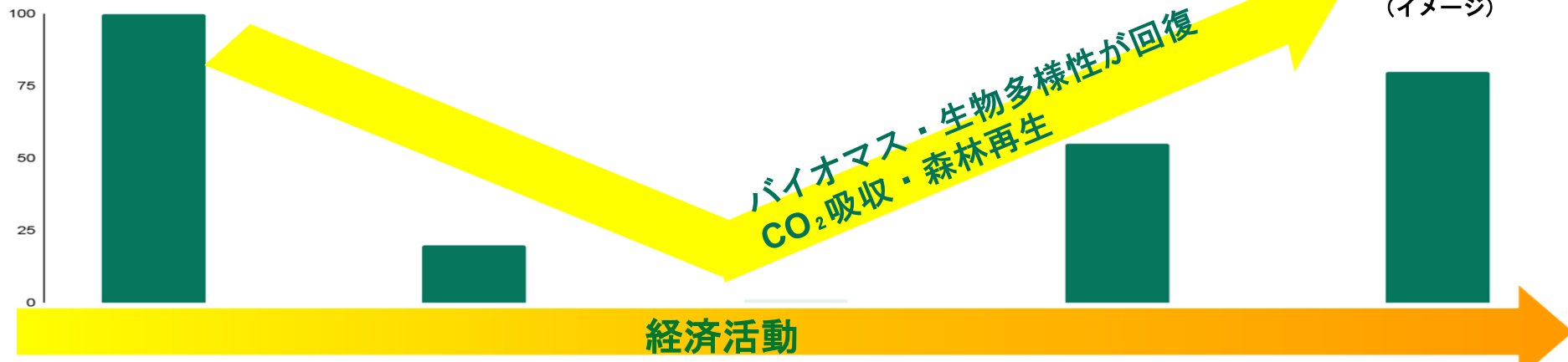
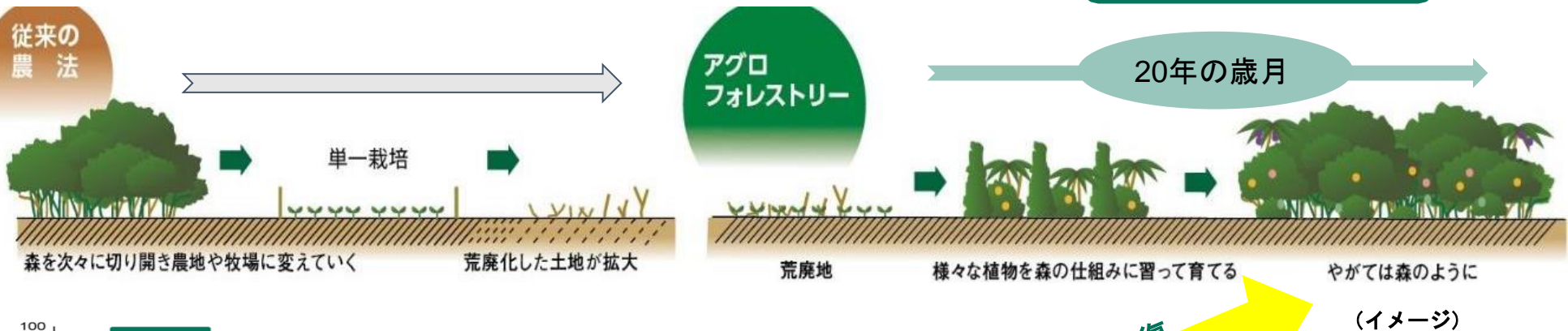
AGRICULTURE  
農業

+

FORESTRY  
林業

=

AGROFORESTRY  
「森をつくる農業」



# 事業の内容



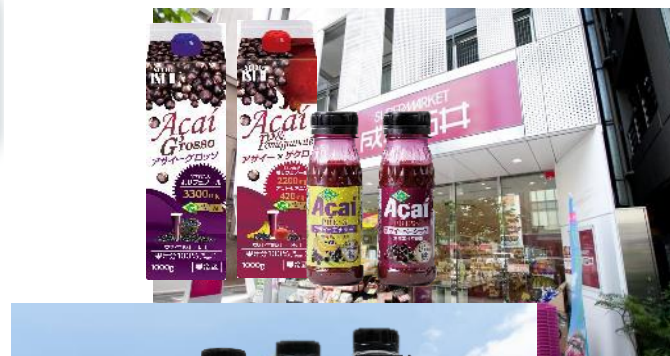
FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

## ①リテール事業部門（自社ブランド）

天然のサプリメントであるアマゾンフルーツを素材にして、独自のフードテックを使い、「自然の栄養素を壊さず届ける」ポリシーのもと、こだわりの製品を各種小売店に販売しています。

## ②ダイレクトマーケティング（DM）事業部門

自社オンラインショップやプラットフォームを通じての自社商品販売や最新の情報発信、二酸化炭素削減量の可視化ポイント制度など、小売店ではカバーしきれないエリアやサービス内容を充実させています。



## ③業務用事業部門(旧AFM部門) \*

外食チェーンや飲食店、食品メーカーに対して、業務用製品や原料を販売しています。冷凍アマゾンフルーツピューレに限らず、高品質な濃縮エキスやフリーズドライ等の加工原料を取り扱っています。

## ④海外事業部門

アグロフォレストリーによる産物をESG訴求の出来るアグロフォレストリー原料による付加価値創出を実現させる商品に使用されます。カカオ豆が中心ですが今後胡椒、パーム、アサイーなども展開していきます。

\*2023年3月期よりアグロフォレストリー・マーケティング (AFM) 事業部より名称変更





# 今後の事業計画（海外事業部門）



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

## 事業計画①：アサイーのアジアを中心とした海外事業展開

日本におけるアサイーの先駆者として、今後は国内のみならず、アジアを中心とした世界に向けて、アサイーの健康価値を普及させるとともに、原料・製品を販売していくことで、大きな成長が見込まれるアジアへ事業を拡大していく計画です。

## 事業計画②：サステナブルマッチングプラットフォーム構築

アグロフォレストリーで栽培された作物を始めとした、サステナブル商材に特化して取引するマッチングプラットフォームの開発を行うことで、取引高を増加させると共に、その取引高から得られる利用料を収益としていく計画です。

※現時点では、本事業を別個で報告セグメントとするような規模までは想定しておりませんが、中長期的に当社の業績向上に資するものと考えております。

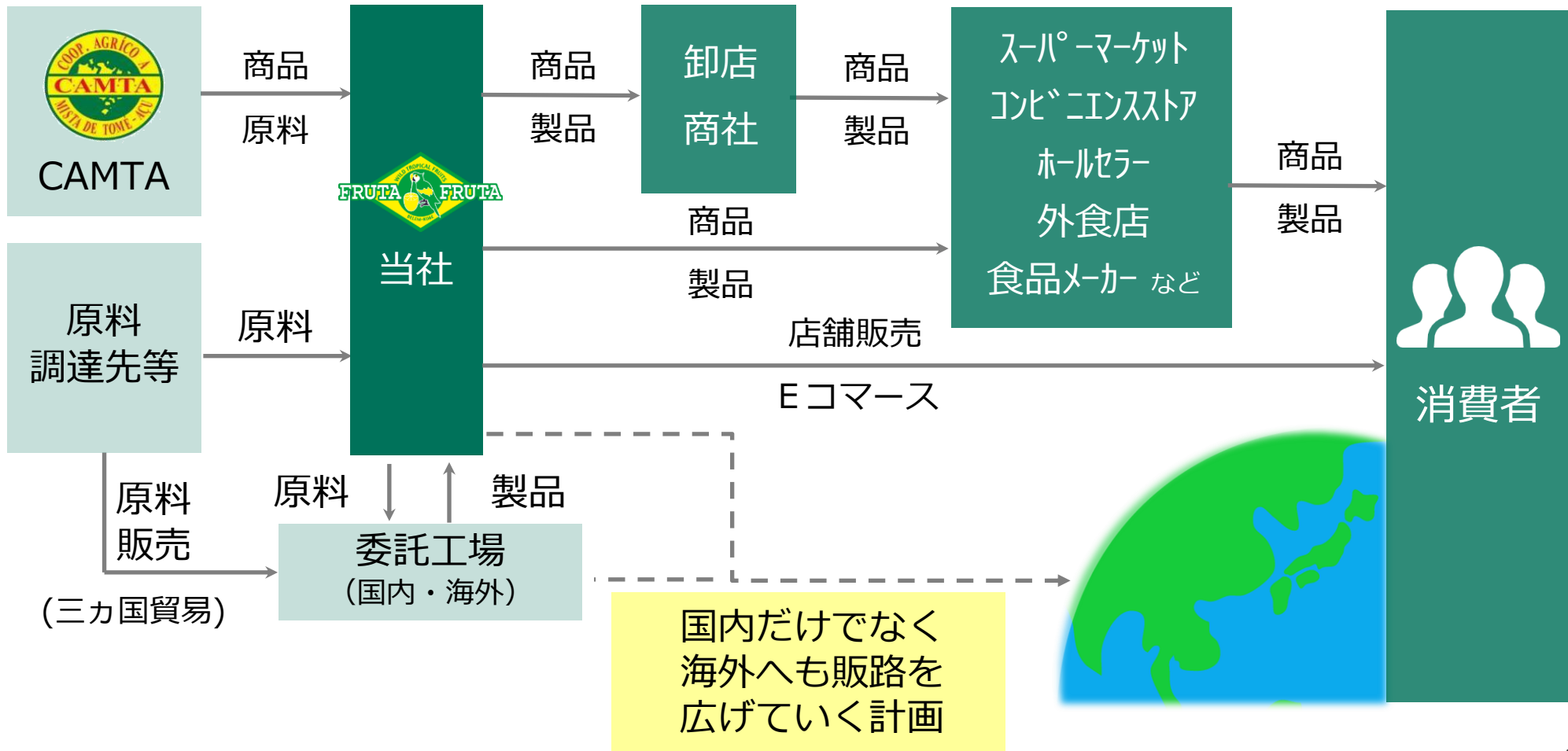


# バリューチェーンと収益構造



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

CAMTAからアグロフォレストリー産の原料等を輸入し、製品を企画・開発し、販売しています。委託工場で製造した自社製品だけでなく、外食チェーンへの卸、メーカーへの原料販売等を行っています。

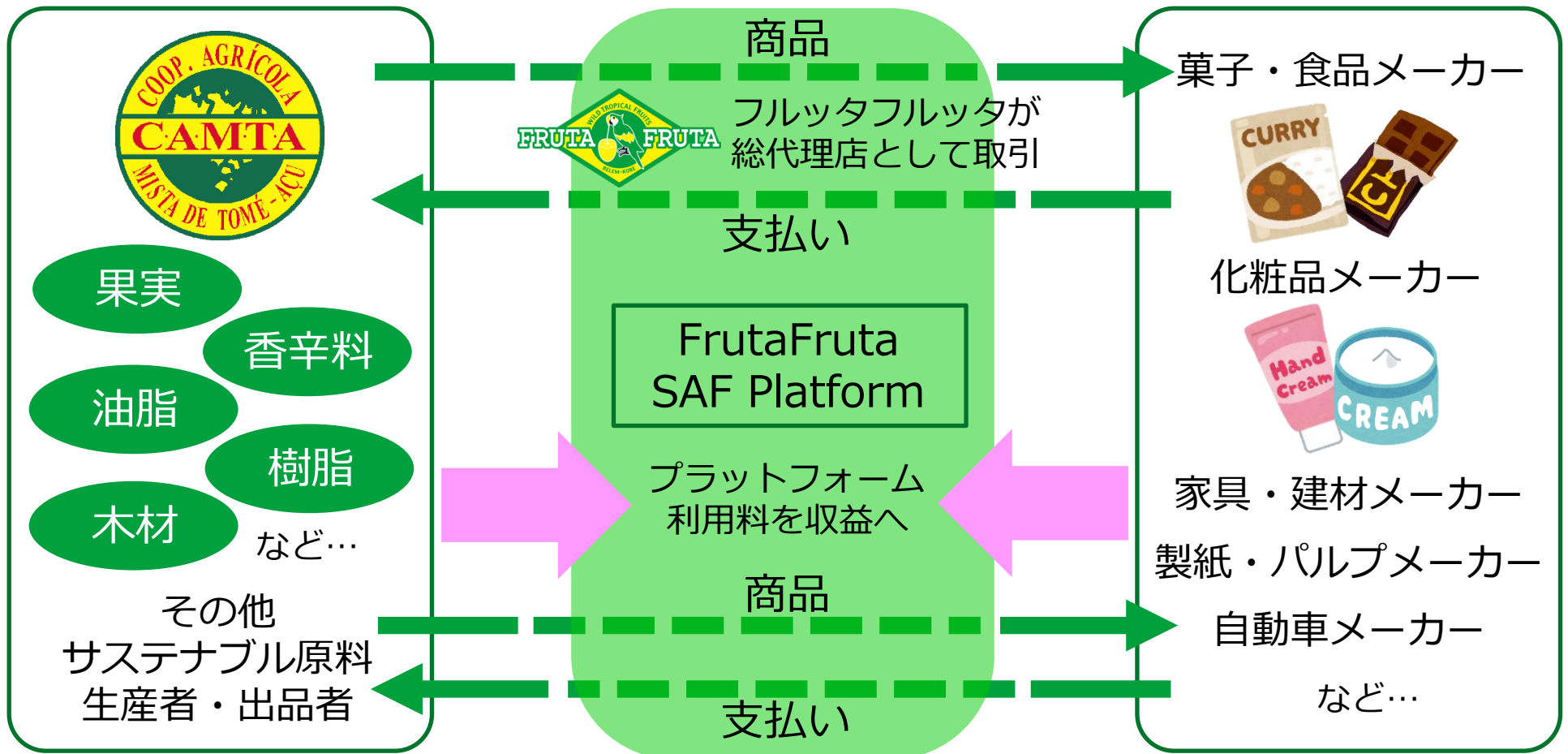


# バリューチェーンと収益構造



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

新たなバリューチェーン・収益構造として、プラットフォーム事業を計画しております。現状の海外事業部門の取引をプラットフォームに乗せて取引高を増加させると共に、他社の商材も取り揃えることで、取引高から得られる利用料を収益としていく計画です。





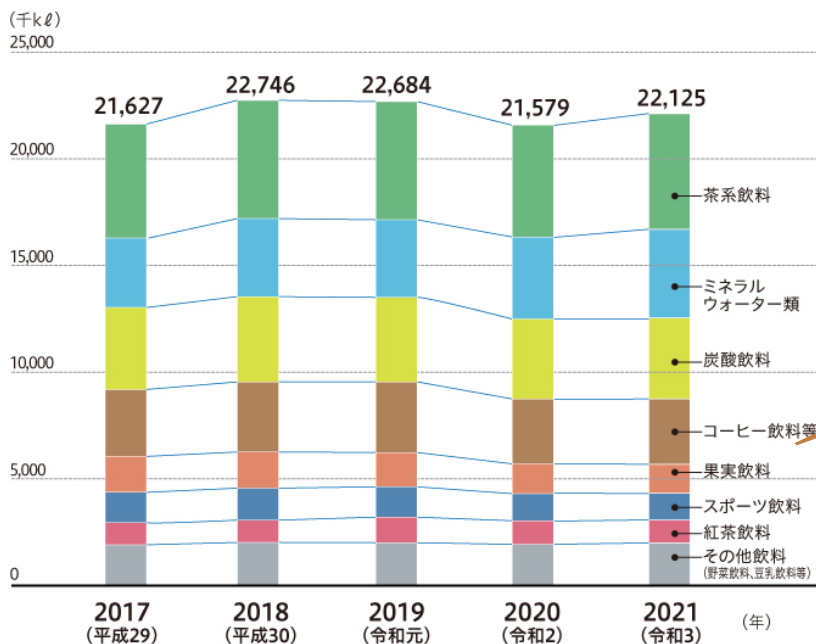
## 2. 市場環境

# 市場の規模と成長性



当社は飲料市場並びに、健康に関連する食品の市場に属しており、それぞれの規模は以下の通り。清涼飲料水品目別で、果実飲料市場は1,370億円規模の販売金額で、健康食品市場は約8,800億円規模へ成長が続くことが予想されています。

出典：一般社団法人全国清涼飲料連合会  
清涼飲料水統計より



2021年度の果実飲料市場は約**1,370億円規模**

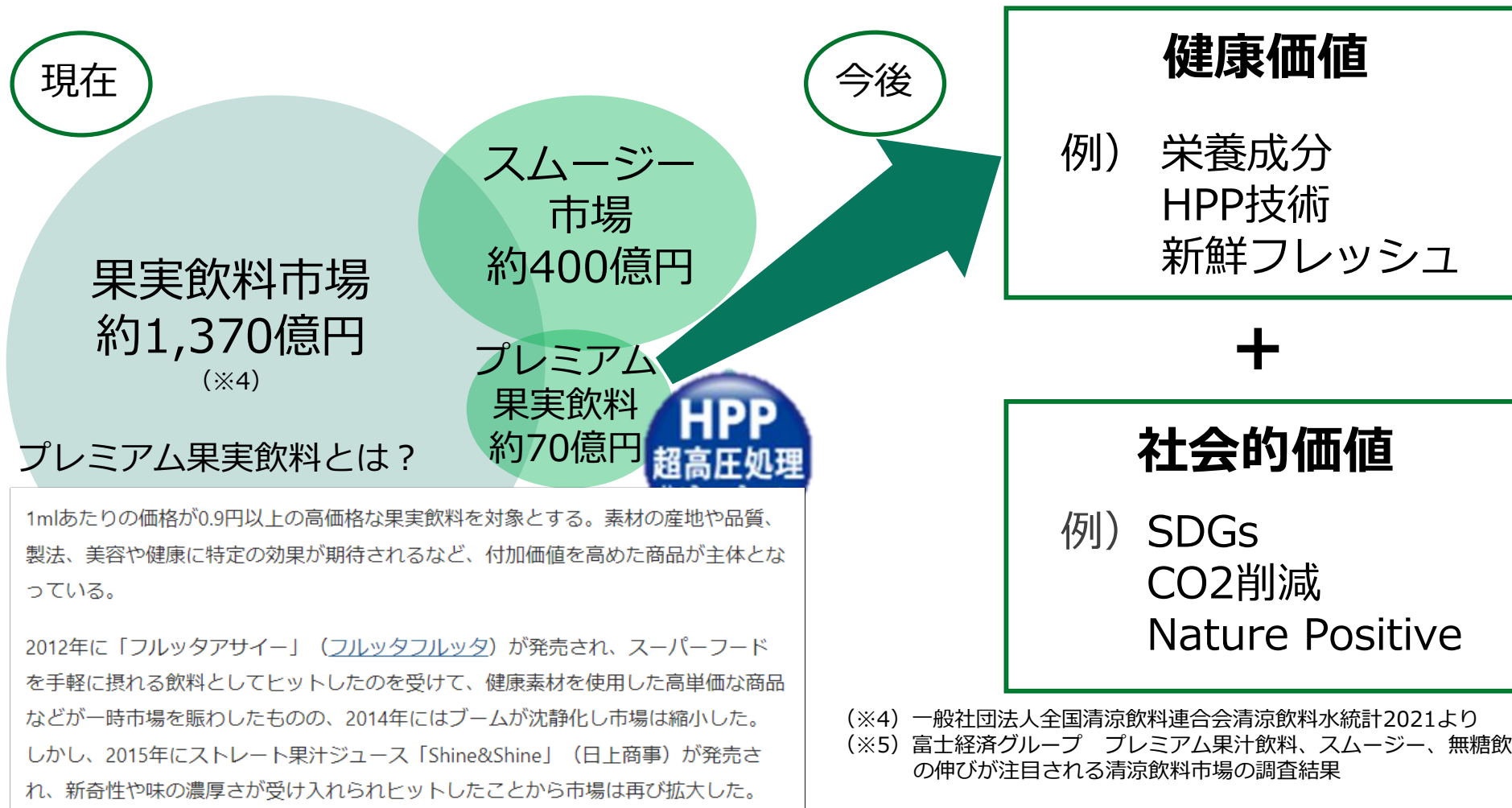
健康食品市場は每期前年比100%を超えて成長している(**8,800億円規模**)

健康食品市場規模推移・予測

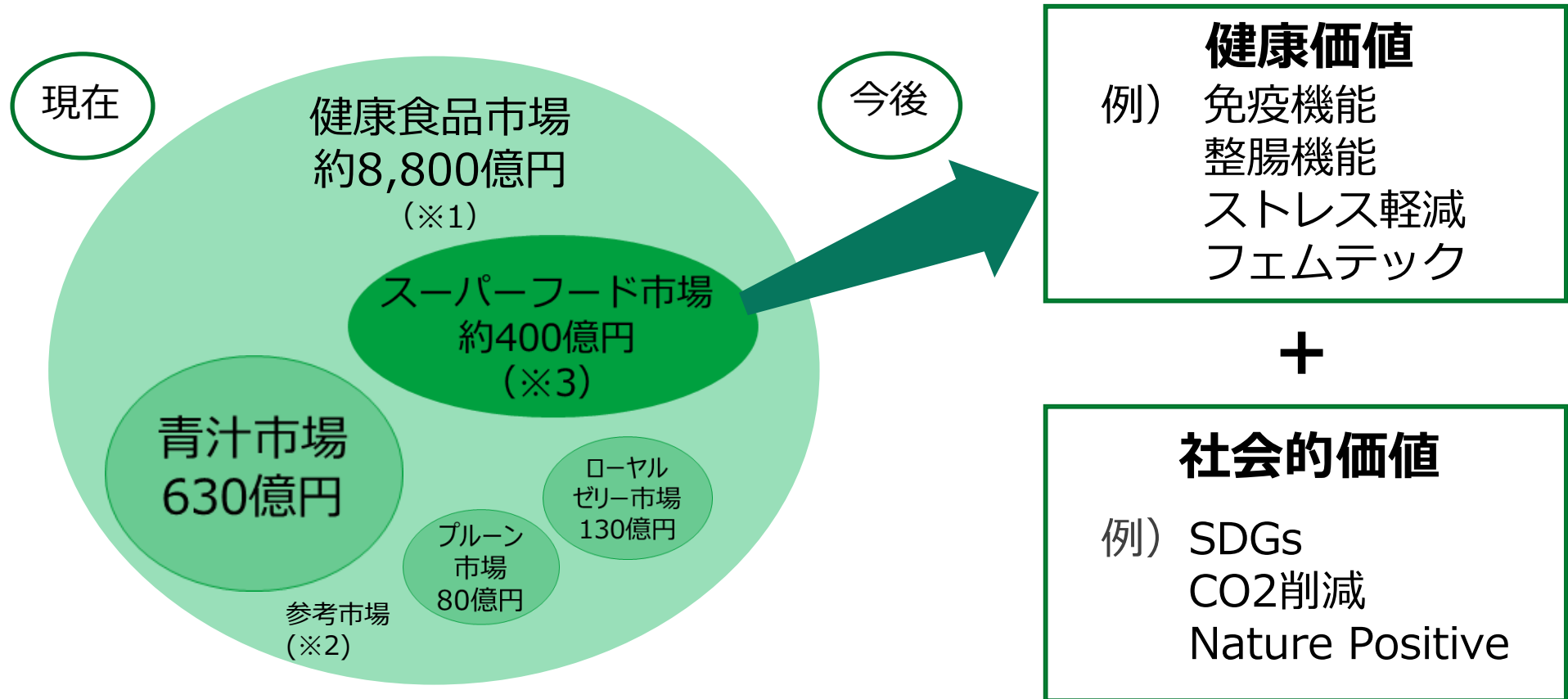


出典：矢野経済研究所「健康食品市場に関する調査」(2021年版)

果汁飲料市場の中で成長していくには、差別化できる健康価値に加えて、社会的価値を持つことが重要となります。



健康食品市場の中で成長していくには、エビデンスを伴った機能価値に加えて、社会的価値を持つことが重要となります。



- スーパーフードの定義（スーパーフード協会HPより）  
栄養バランスに優れ、一般的な食品より栄養価が高い食品であること。  
あるいは、ある一部の栄養・健康成分が突出して多く含まれる食品であること。

- (※1) 矢野経済研究所「健康食品市場に関する調査（2021年版）  
（メーカー出荷金額ベース）
- (※2) 同上調査・2019年推計市場規模（メーカー出荷金額ベース）
- (※3) スーパーフード協会調査（2018年）

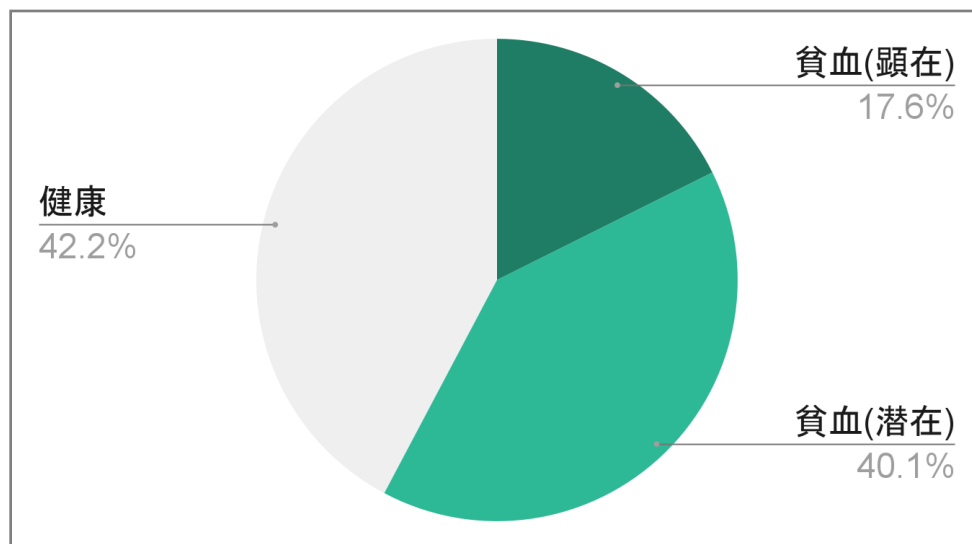
# 健康食品市場の成長ポテンシャル



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

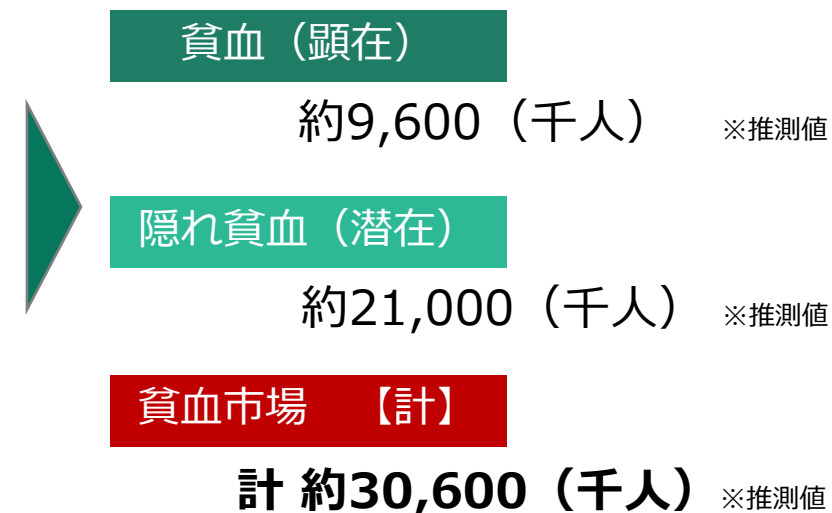
健康食品市場は8,600億円  
女性における貧血（顕在+潜在）の割合は**57.7%**

※矢野経済研究所調べ



以下、調査データを基に(株)インテグレートにて作成  
①厚生労働省「国民健康・栄養調査」  
第2部 身体状況調査の結果  
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eiyou/h21-houkoku.html>

20代～70代 日本女性 人口（54,555千人）  
における貧血市場規模（推測値）



参照：人口推計（20歳以上～女性：54,555千人）  
【2021年（令和3年）10月1日現在（確定値）】 総務省統計局  
<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/pdf/202203.pdf>



# アサイーの世界市場規模と予測

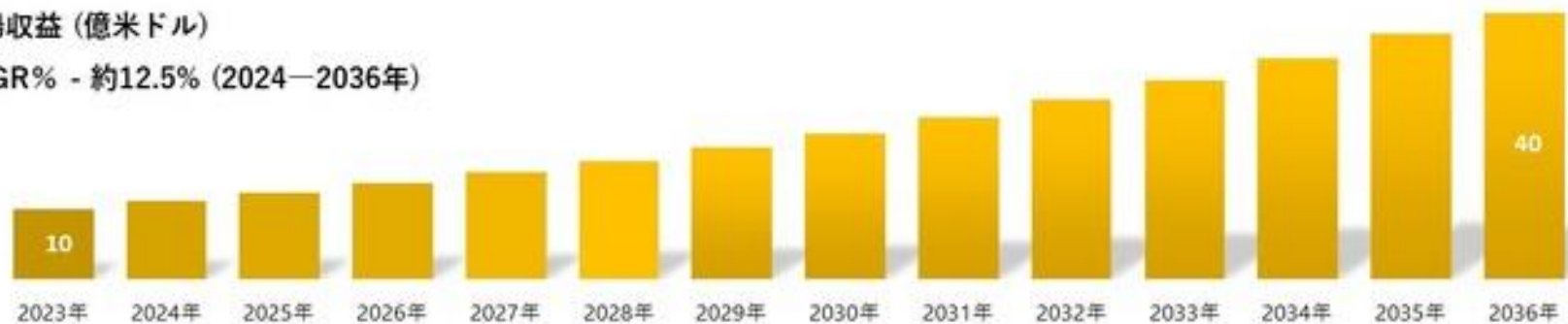


FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

アサイーの世界市場規模は2023年時点で約10億米ドル、12.5%の成長率で伸長し、2036年までに約40億米ドルに達すると予測されている。その中でも、アジア太平洋地域においては、大幅な成長が予測されており、2036年末までに最大10億米ドルに達すると予想されている。

市場収益 (億米ドル)

CAGR% - 約12.5% (2024-2036年)



## ※アサイー市場の成長影響分析

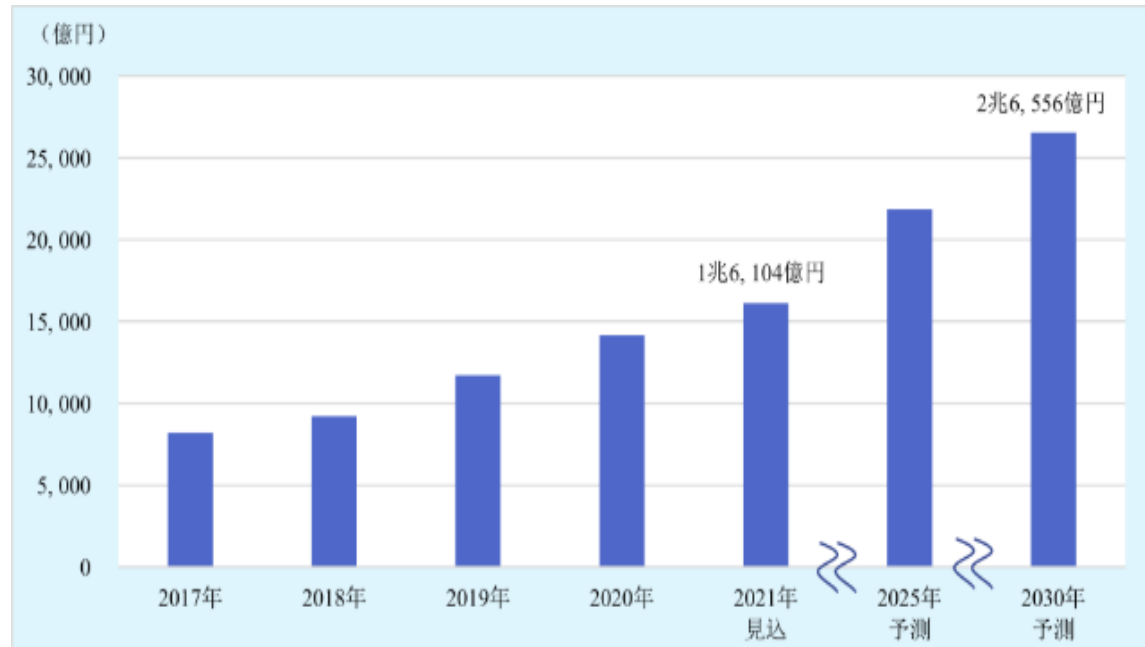
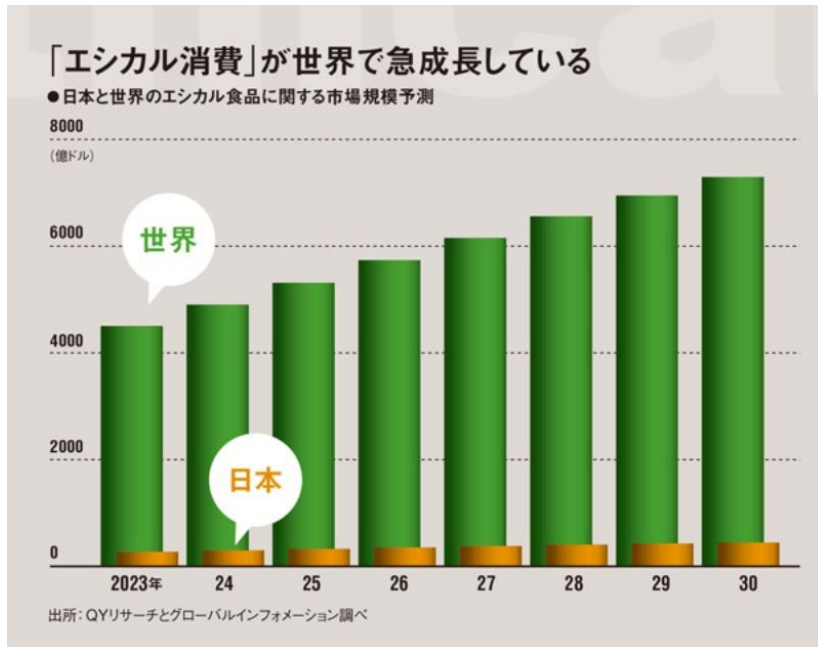
アジア太平洋地域は世界の中でも特に高い成長が予想されている。



「世界のアサイーベリー市場に関する調査レポート：予測2024-2036年」 SDKI.Inc.

ソース：SDKI Inc. 分析

2023年のエシカル食品の世界市場の規模は、約4,502億ドルとなっており、2030年には7,294億ドルに達する見通しとなっている。  
国内サステナブルフードの市場規模も、2021年時点で1兆6,104億円と推計されており、2030年には2兆6,556億円～6兆円の規模に達すると見込まれている。



「消費をのみ込むエシカルの波」日経ビジネス

※富士経済グループ  
SDGs社会に向けて変革するサステナブルフード市場の現状と将来予測

# COP30 ブラジルのベレンで開催決定！



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

ブラジルは、G20議長国、COP30の開催地がアマゾンに決定しており、アグロフォレストリーが国際的に注目される可能性。

2024年  
G20 リオデジャネイロ

2025年  
COP30 ベレン



来年G20議長国のブラジル、世界的課題に「重要な役割」=イエレン氏



India  
2023



Indonesia  
2022



Brazil  
2024



2025年COP30 ブラジル北部のアマゾン地域で初開催へ





### 3. 競争力の源泉

## ① 栄養を壊さず届ける技術

アサイー、その他アマゾンフルーツでの健康価値の提供

- アマゾンフルーツのサステナブルソーシング
- 瞬間冷凍、HPP、真空充填、凍結乾燥技術、ロジックソリューション等
- 各種機能性研究

## ② 環境再生型のESG事業

自然と経済を両立させるビジネスモデル（自然資本主義）

- アグロフォレストリーの第一人者CAMTAとの独占販売契約
- CO2削減量の可視化、炭素クレジットの可能性
- 生物多様性の回復

# アサイーの機能性研究



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

## 造血機能研究

臨床試験  
デザインを見直し



原因物質の  
特定へ

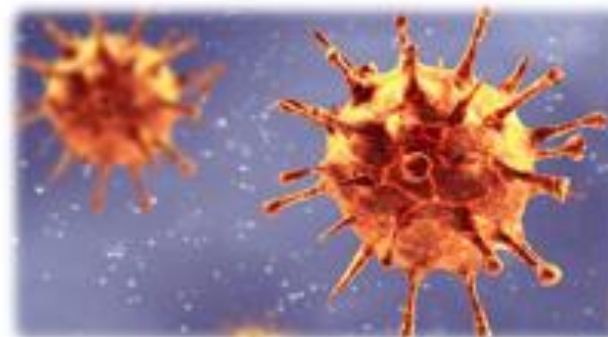


## 抗炎症研究（トロント大学）

2022年12月に  
結果発表予定も  
未だ発表なし



長期目線で  
働きかけを継続



## プラントベースフード研究

代替肉品質改善を  
目的とした有効成分に  
関する特許出願



2022年8月  
一般食材への応用  
による発展可能性



# 環境再生型のESG事業



**FRUTA FRUTA**  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

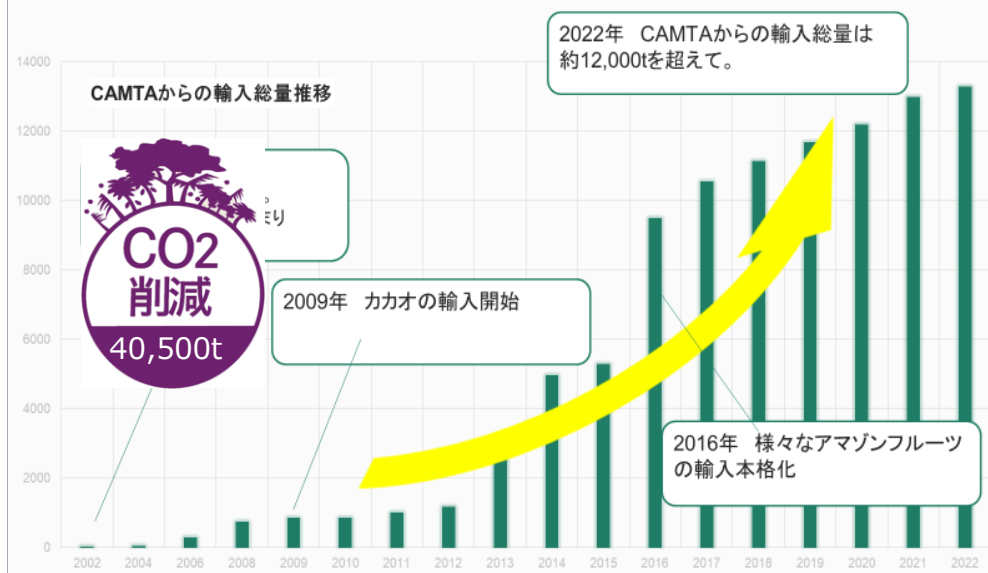
気候変動(地球温暖化)に関連した『TCFD』の設立から8年経過し、プライム市場での開示義務化進む中、TCFDの生物多様性版とも言われる『TNFD』への取組が企業活動に求められる状況において、当社では、アグロフォレストリーの強みを活かし、CO<sub>2</sub>削減及び生物多様性の回復に、事業での取組を通じて貢献します。



# 社会貢献は原料調達から



**FRUTA FRUTA**  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023



- ①原料 1g = CO<sub>2</sub>削減量 4.5g
- ②20年間のアサイー輸入総量 約9,000t
- ③CO<sub>2</sub>削減量は9,000t×4.5g=40,500t
- ④1haあたり8tのアサイーを収穫
- ⑤そのうち30%が製品化 2.4t/ha
- ⑥9,000t÷2.4t/ha=3,750haの森再生に貢献



**TCFD** | TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED  
FINANCIAL DISCLOSURES



2015年パリ協定  
⇒2015年12月設立



2022年プライム市場  
開示義務化



金融市場で求められる  
気候情報の開示

自然と気候の  
統合的な  
開示へ



Taskforce on Nature-related  
Financial Disclosures



2019年ダボス総会で着想  
⇒2021年国際的に発足



自然の損失は大きなリスク  
自然を積極的に活用する投資へ



事業活動が自然に与える影響開示  
TCFDの生物多様性Ver



2023年6月TNFDの理念に賛同し、タスクフォーラムへ参画  
当社のビジネスモデルが成功事例となる様に、情報の開示、事業の推進を継続

# アグロフォレストリー 炭素クレジット取り組み



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

我々のサプライヤーCAMTAは、アグロフォレストリーを通して減らした二酸化炭素を、炭素クレジットとして発行するプロジェクトを開始。炭素クレジットはMicrosoftに販売され、今後も大きな期待が寄せられている。



NHK NEWS WEB



## 4. 事業計画

## 3つの戦略は継続しつつ、優先順位を入れ替え

### 既存戦略

アサイーファン

外食チャレ

鉄ポリフェノール

### 機能性価値 訴求戦略

HPP技術

抗炎症

造血

### アグロフォレストリー GX戦略

プラントベース

EAP

CO<sub>2</sub>削減

## 差別化ポイントを磨き上げ、短期的、長期的に補強

### 足元を固めるための事業（短期的）

- ・ HPP技術を活用した台湾シリーズの展開
- ・ アサイー市場の回復による定番アイテムの採用増、復活



### 将来を見据えた本来の事業（長期的）

- ・ ネイチャーポジティブの実現に向けた取組強化
- ・ CO<sub>2</sub>削減量表示の推進
- ・ サステナブル・プラントベース原料の拡売



### 既存戦略

アサイーファン

外食チャレ

鉄ポリフェノール

HPP技術

抗炎症

### 機能性価値 訴求戦略

造血

プラントベース

EAP

### アグロフォレストリー GX戦略

CO<sub>2</sub>削減

戦略は継続しつつ、より具体的に実行に向けた計画へ

- アサイーのアジアを中心とした海外事業展開
- ・ 創業時の事業でもある多店舗展開によるアジア市場開発
- ・ アジア全域に原料・製品を供給するハブとなる生産拠点の確保
- ・ アジアにおけるアサイーの普及活動及びプロモーション
- ・ アサイーの機能性研究及びPR活動

- サステナブル マッチング プラットフォーム構築
- ・ 自社品だけでなく、サステナブルに関連する他社の商材も取り揃え
- ・ WEB3技術を利用、売買を通じたCO<sub>2</sub>削減量を表示、記録
- ・ 将来的にクレジットと関連付けを計画
- ・ COP30などのサステナビリティ関連イベントでのプロモーション活動

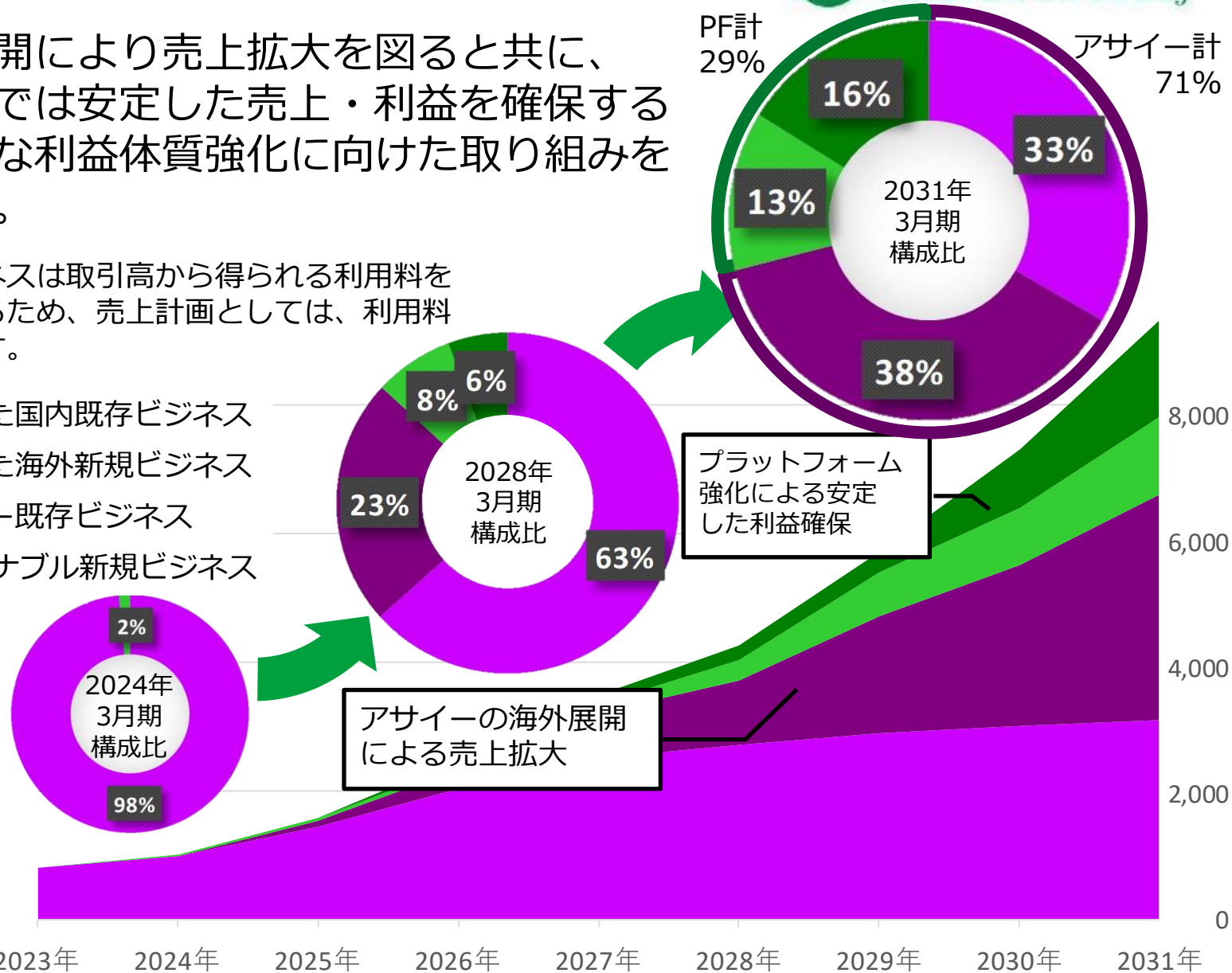
# 中長期計画（ブラッシュアップ）



アサイーの海外展開により売上拡大を図ると共に、プラットフォームでは安定した売上・利益を確保することで、中長期的な利益体質強化に向けた取り組みを進めてまいります。

※プラットフォームビジネスは取引高から得られる利用料を収益として計画しているため、売上計画としては、利用料のみを計上しております。

- アサイーを中心とした国内既存ビジネス
- アサイーを中心とした海外新規ビジネス
- アグロフォレストリー既存ビジネス
- PFを活用したサステナブル新規ビジネス

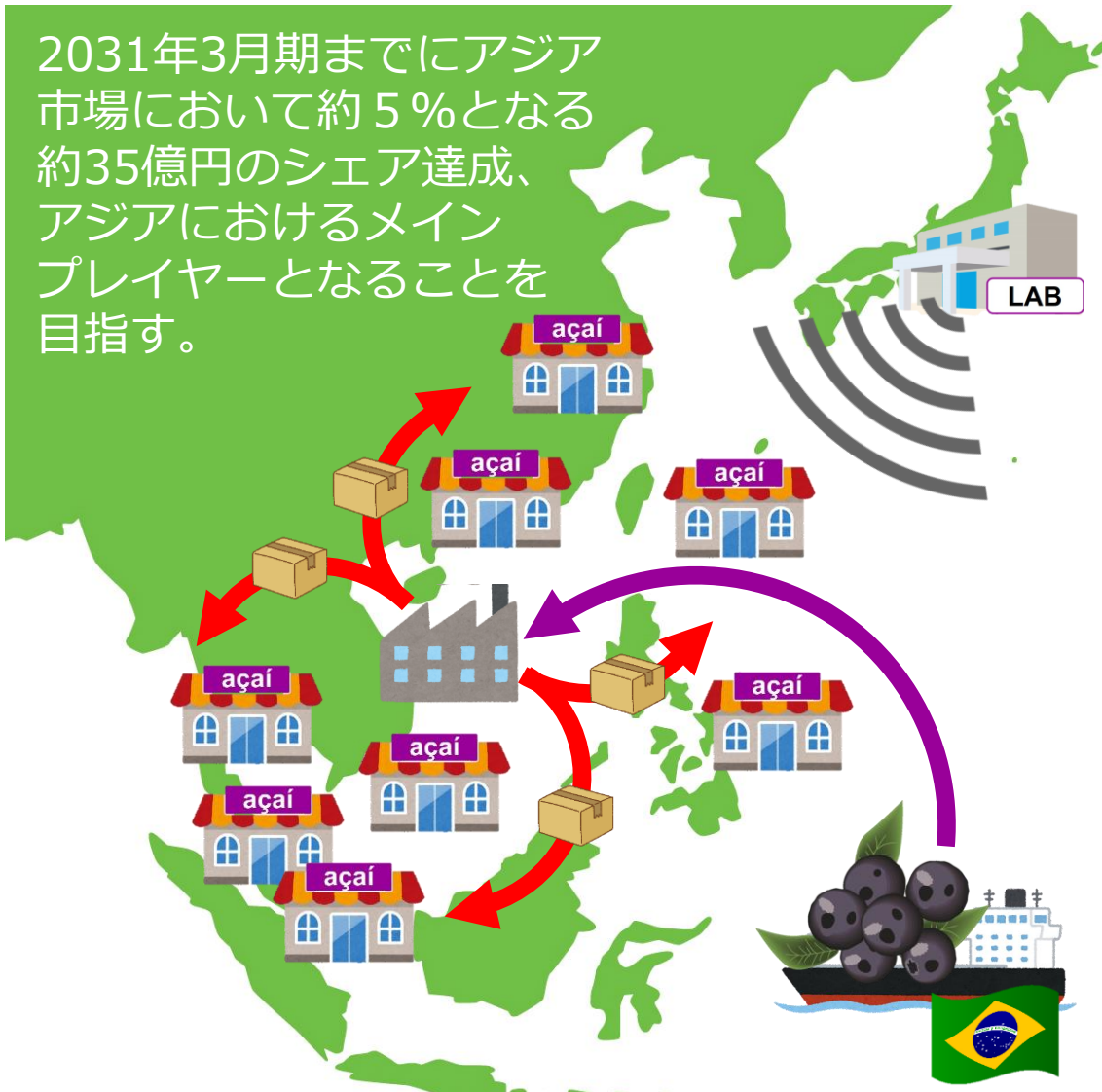


# アサイーの海外事業展開



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

2031年3月期までにアジア市場において約5%となる約35億円のシェア達成、アジアにおけるメインプレイヤーとなることを目指す。



多店舗展開による  
市場開発

成長が見込める国に対し、アサイーが楽しめる店舗を展開。展開国に合わせて、プロモーションを展開することで市場活性化。



生産・物流拠点確保

アジア全域に原料・製品を供給するハブとすべく、建設費、人件費・輸送効率などを勘案し、場所を選定。



アサイーの機能性  
研究・PR活動

造血機能研究の継続+新たな価値に向けた研究により、ブームでは終わらせないエビデンスを確保。

※各アイコンの位置は、国を特定するものではありません。

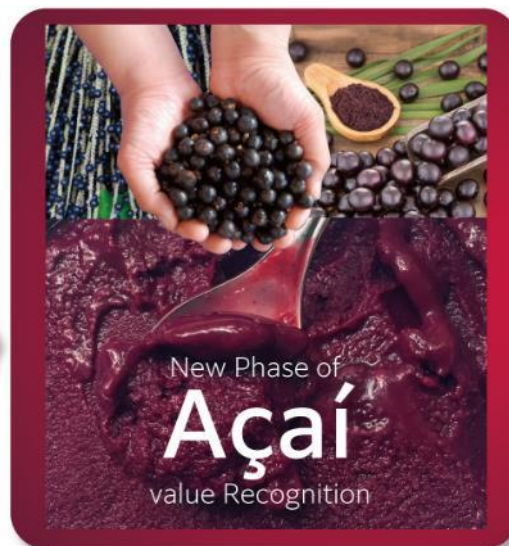
# アサイー再活性化の兆し①



**FRUTA FRUTA**  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

国内外、各方面から聞こえるアサイーの盛り上がりをキャッチアップし、市場の再活性化を図る。

メディアからの盛り上がり



国内市場からの盛り上がり



海外市場からの盛り上がり



# アサイー再活性化の兆し②

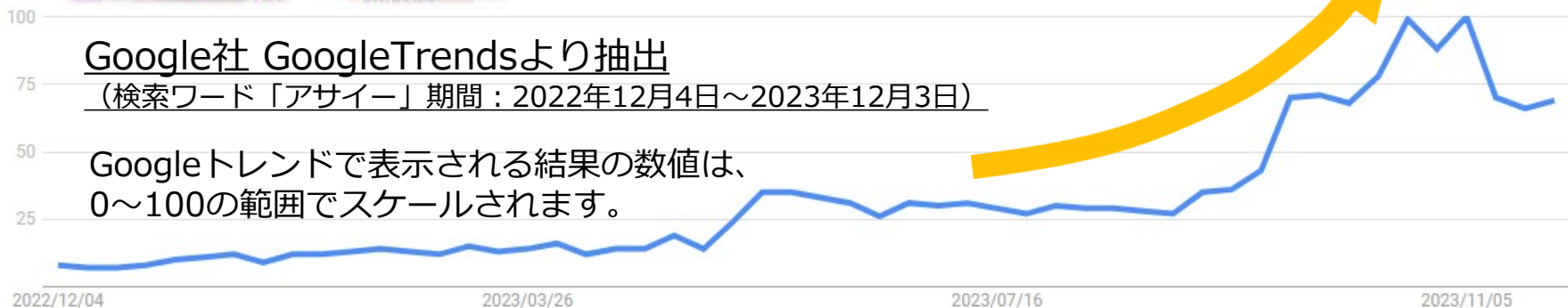


FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

外出機会の増加や健康志向の高まりによって外食業界を中心にアサイーメニューが増加。アサイーボウルやスムージーが復活する一方、商品⇒デザート⇒惣菜へと広がる企業も出てきており、一般食品への新たな広がりを見せている。



●某大手スーパーの事例



アサイーの機能的価値で「造血効果」等によるQOL向上を、プロモーション活動を通して新しい健康概念あるとして定着させ、需要喚起を図る。

製品機能的価値の向上

自分ゴト化促進

解決したい意識を満たす  
アサイーの機能的価値

アサイー  
需要喚起

解決意識を高める  
ための情報開発



B2C・B2Bの  
売上促進につながる  
「アサイー」の  
機能的価値向上

造血、他の機能検証  
および対策を  
必要としている方々への  
情報提供

ターゲット



貧血やバイオリズム  
の不調に悩む人  
(主に女性)

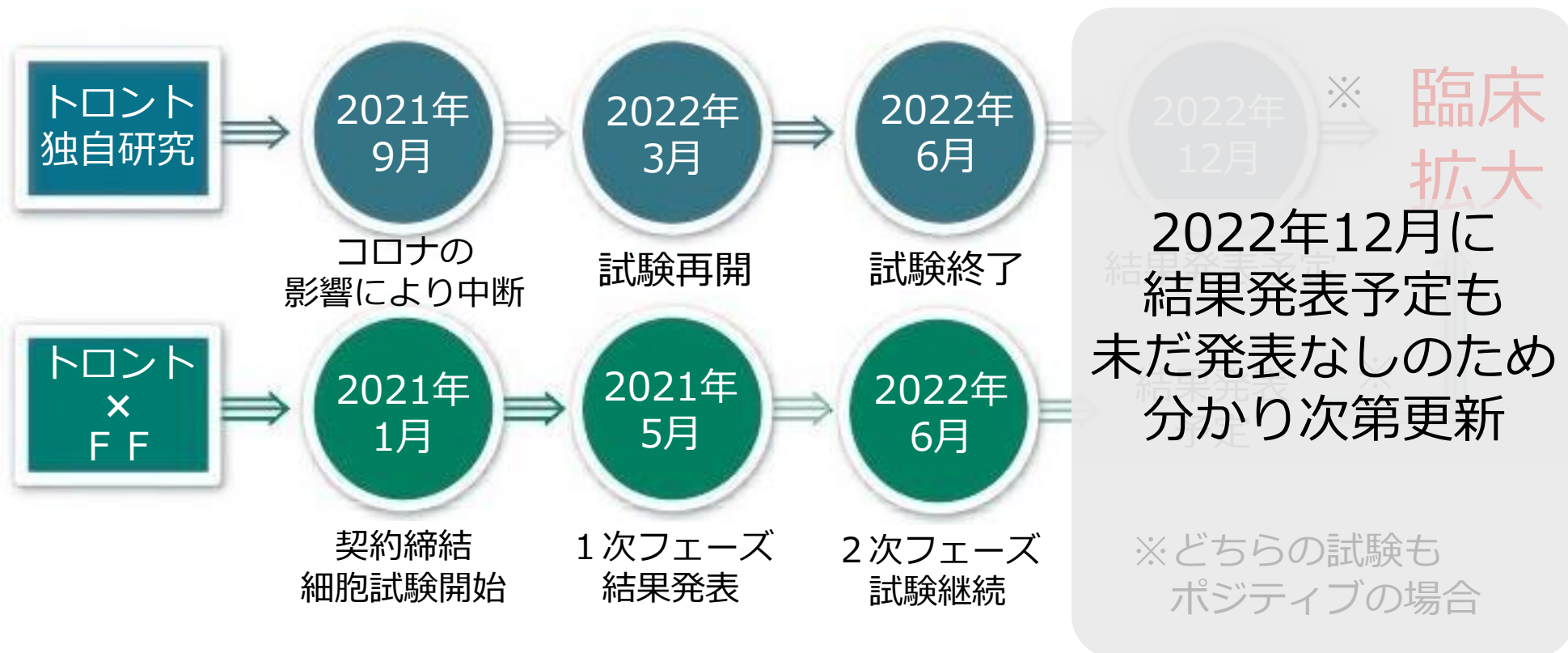
臨床試験デザインを見直し、  
原因物質を特定中

# R&D アサイーの抗炎症研究（トロント大学）



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

当社アサイー原料を使った細胞試験において、新型コロナウイルス起因のNLRP3誘発性炎症を抑制する効果が認められたことを発表。（下段）  
臨床試験については、トロント大学独自の研究として進行中。（上段）



様々なチャネルに向けた商品展開、ラインナップ強化を行うことにより、早期市場形成を図る。

パイオニアとして市場を形成していく

BtoC(個人向け)  
市場開拓(CVS6月スタート)

BtoB(業務用)  
市場開拓

後継品の開発  
(EX:パイナップルガムロ)



家庭用として  
スタート

# 市場創造 = 需要を作る



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

## 楊枝甘露、日本初上陸

2022年12月から大手会員制倉庫店にて発売、売上好調を受けECでも販売開始。

新商品発表会や、インフルエンサーを起用したSNS施策などにより、常に話題を提供することで、今期のさらなる拡売に向けた仕掛けを実施。



# サステナブル マatching プラットフォーム構築



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

## プラットフォームの特徴・メリット

### 原料使用者と環境貢献の紐づけ

原料調達(生産者)からサプライヤー(製造)、エンドユーザー(消費者)までのサプライチェーン情報と、取引量に応じたCO<sub>2</sub>削減量を明示、記録します。



### トレーサビリティの向上

ブロックチェーン技術を利用し、サプライチェーン情報、CO<sub>2</sub>削減量が明示・記録された取引が増加することで、プラットフォーム内で環境貢献度に対する信憑性が高まります。ゆくゆくは取引に対するサステナビリティへの信用が定着し、認証機能のような働きを発揮することを目指します。

### 幅広い品揃え

当社品40商材に加え、他社のサステナブル商材も取り揃える予定。「サステナブルに関連するものはここに来れば揃う」と認識されるプラットフォームを目指します。



### ビジネス機会創出

プラットフォームに訪れる企業との新たなネットワークを活用して、ビジネス機会の獲得や新たなビジネスモデルの創出につなげることができます。

### 製品・サービスの差別化

製品・サービスに係るCO<sub>2</sub>削減量をアピールすることで、差別化・ブランディングに利用可能です。

### PR効果、企業価値向上

環境貢献に関するPRができると共に、企業評価調査などに記載することで、企業価値向上につなげることができます。

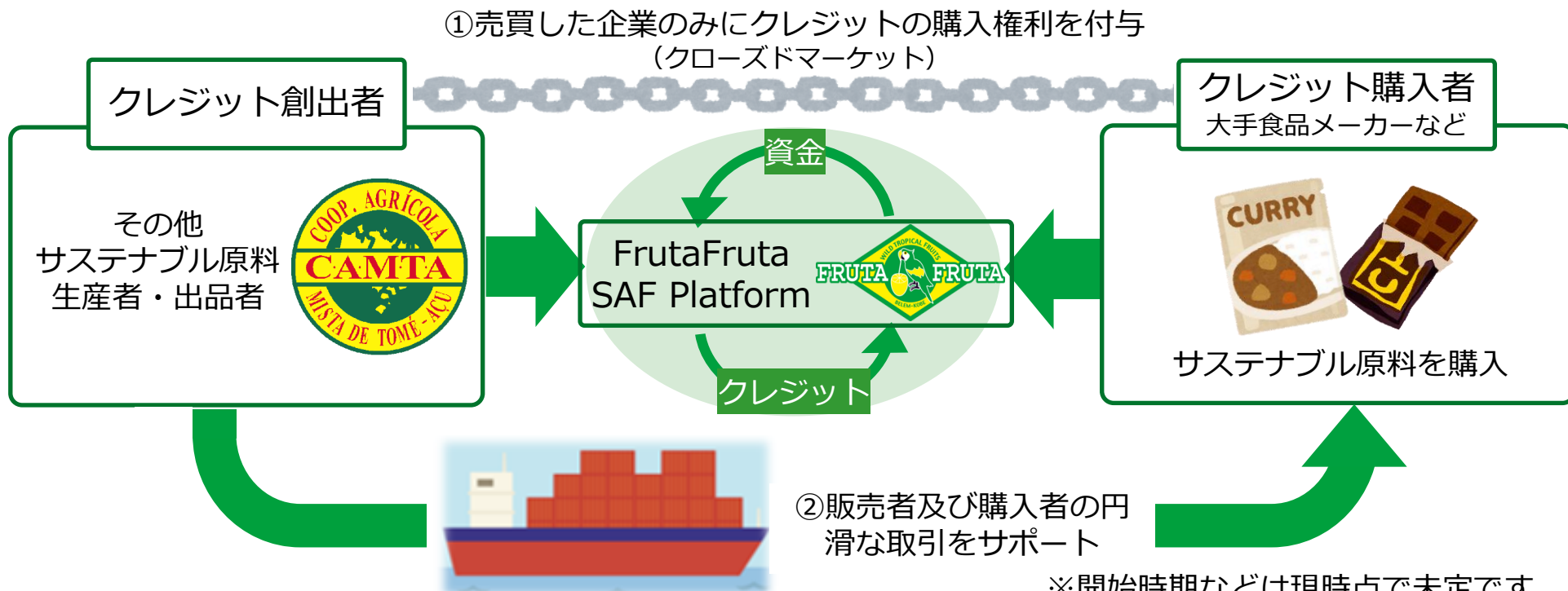
※開始時期などは現時点で未定です。

# サステナブル マッチング プラットフォーム構築 (将来像)



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

- ① WEB3技術を活用したブロックチェーンを利用し、Co2削減量を明示・記録。PF内で売買した企業のみ、CO2削減量に応じたクレジットの購入権利を付与することで、原料使用者の環境貢献度を可視化する画期的なシステム。
- ② 販売者及び購入者の円滑な取引をサポートするため、貿易代行のノウハウを有する企業とM&A・資本業務提携を行い、サポートの体制を整備。



※開始時期などは現時点で未定です。

## CO<sub>2</sub>削減取り組み

- 2022年6月～CO<sub>2</sub>削減マークを作成し、自社EC内でポイントプログラムを実施。
- 商品ごとのCO<sub>2</sub>削減量の算出を行い、2023年3月～新商品にて表示開始。既存品も順次切り替えを実施。

### 業界初！



アグロフォレストリーを表現しています

製品に使用しているアグロフォレストリー原料に合わせたCO<sub>2</sub>削減量を表示しています

## サステナブルカカオ豆

- FY2023は合計400tを輸入。CO<sub>2</sub>削減量に換算すると**1,800t**となる。
- 児童労働問題などにより、サステナブル原料として注目が集まっている。
- メーカーだけでなく、小売業からも問い合わせがきており、注目の兆し。





# CO<sub>2</sub>削減マークの拡散



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

自社品からスタートし、他社品へのCO<sub>2</sub>削減量表示にまで発展しており、今後の広がりが期待できる。

④サステナブル原料を使った他社品へCO<sub>2</sub>削減量を表示



①2022年6月～自社ECにてCO<sub>2</sub>削減量表示をスタート



③アサイー、カカオ豆に続く、サステナブル原料販売による差別化



②2023年3月～自社商品にCO<sub>2</sub>削減量の表示をスタート

※ミールキットは裏面に表示



# プラントベースフードへの取り組み



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

早期からプラントベースフードに注力し、商品開発を実施。  
近年の需要拡大に伴い、“食事目的”の開発に取り組んでいく。

## ココナッツヨーグルトの拡売

第3の植物性ヨーグルトとして定着。  
さらなる販路拡大に向けた取り組みを実施する。



2023年11月 代替肉の味改良を目的としてアサイー使用したU.S.M.H 社のプライベートブランド食品発売



## アサイーの機能・成分を食品へ応用

味を崩さずに、色やにおい、コク味をアップさせる効果があり、植物肉だけでなく、カレーなどへの導入も検討されている。



# 円安下、海外市場への取り組み

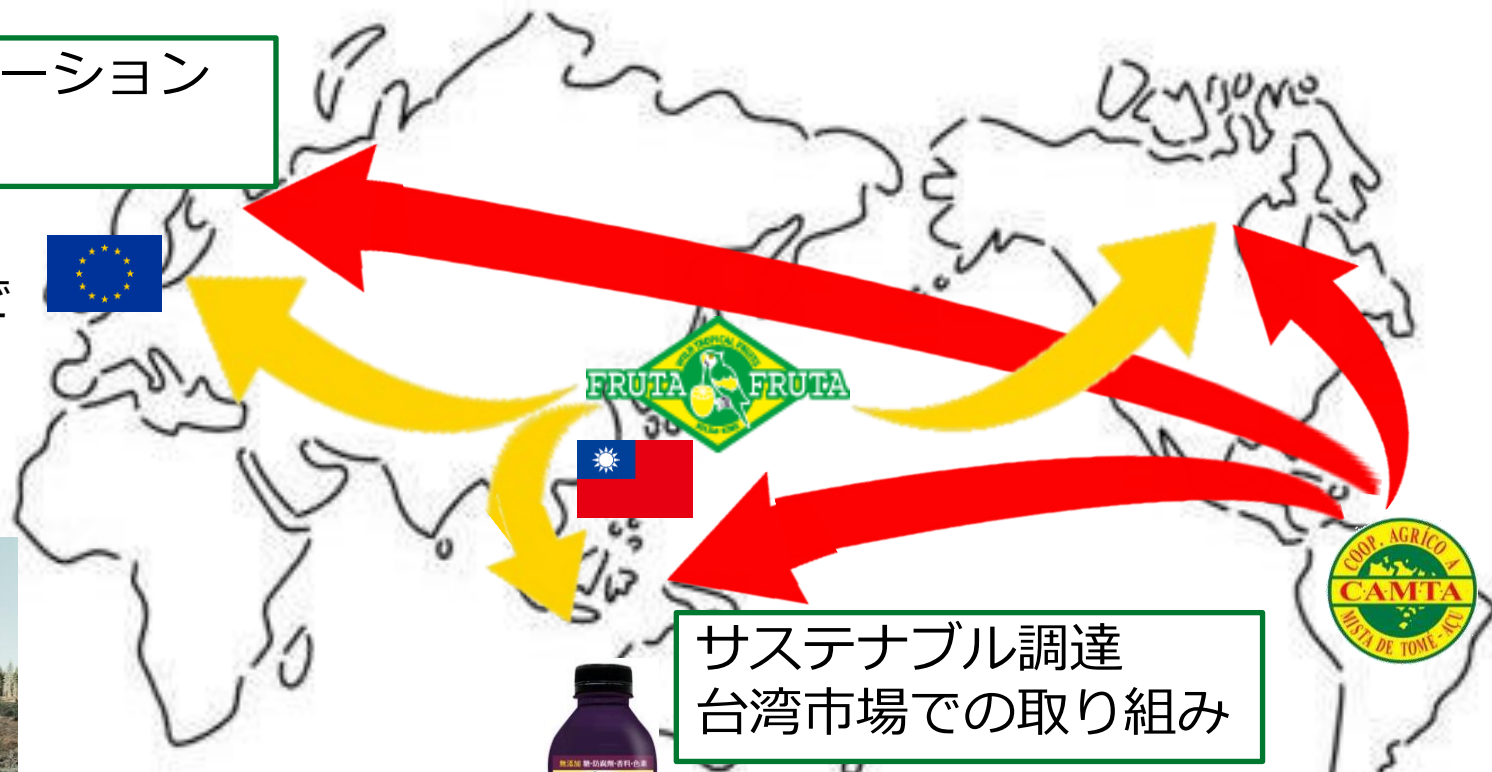


FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

サステナブル調達の流れは世界的に加速しており、その強みを活かし、原料、商品の両面から全世界への販売を強化する。

## ゼロ・デフォレステーションへの取り組み

森林破壊に関連した製品の輸入を禁止。EUで製品を販売する場合、森林破壊に関連しない証明を義務づける。



## サステナブル調達 台湾市場での取り組み

台湾市場での取り組みを再開。  
大手会員制倉庫店を中心に再導入を図る。



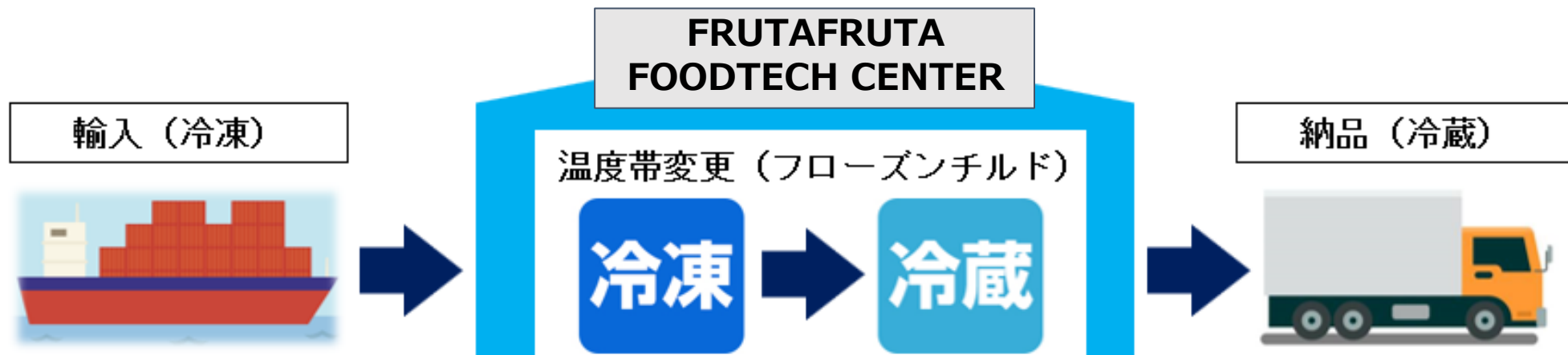
# 自社フローズンチルドセンターの検討



今後も上昇が想定される物流コストに対するソリューションを検討する。  
アマゾンの栄養を壊さず届けるための、最適な方法を検討する。

## 現在の課題

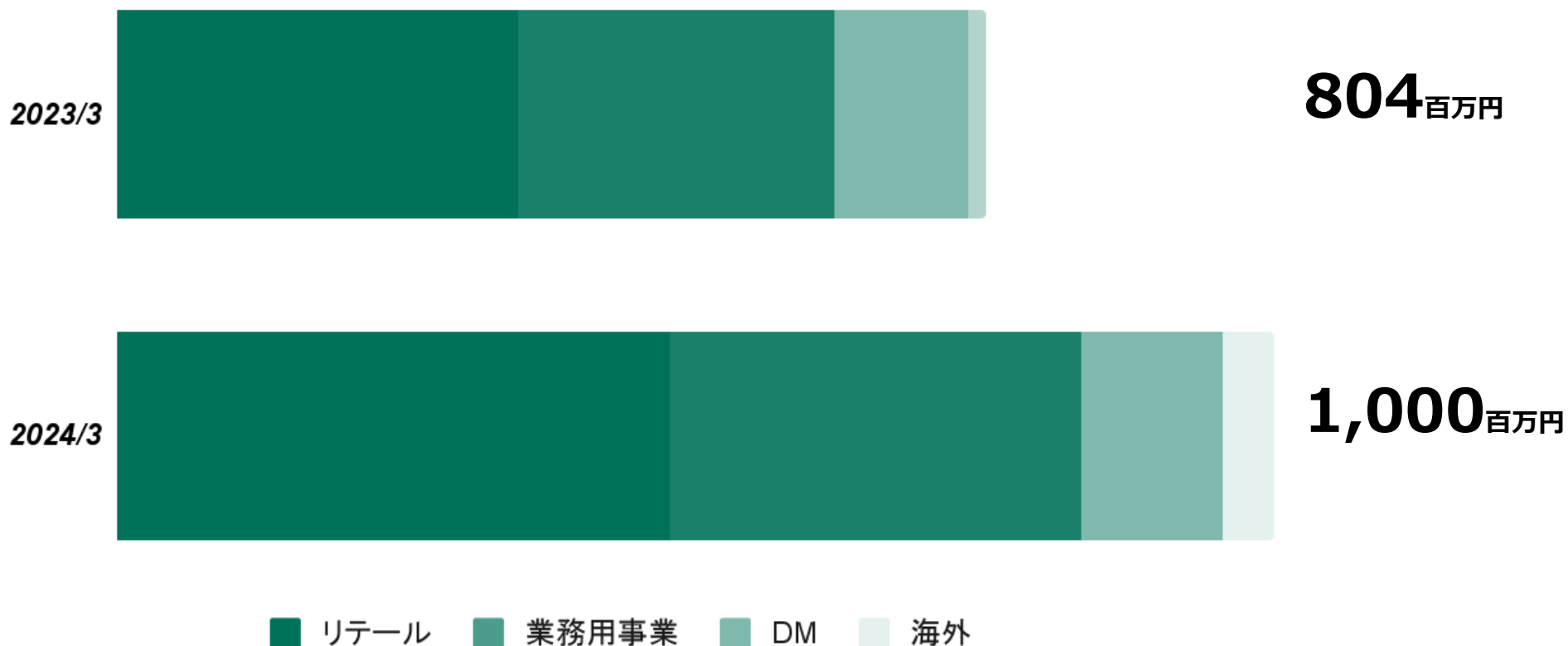
- ① 3温度帯への対応（冷凍、冷蔵、常温）
- ② 温度帯変更（フローズンチルド）への対応
- ③ 販売チャネルに応じたきめ細かな対応





## 5. 2024年3月期の進捗及び 今後の計画

FY2024の見通しとしては、前年実績値より売上高25%増、早期黒字化へ向けて、粗利額・営業利益が改善見込となっている。



## リテール事業部門

アサイー関連商品の採用店舗数拡大  
大手会員制倉庫型店への取り組み継続

(単位：百万円)	FY2023	FY2024	増減率
売上高	371	506	136.4%
粗利額	121	152	125.6%

## 業務用事業部門

アサイー原料の採用チェーン・採用メーカー拡大  
ヨンジーガム口の業務用展開

(単位：百万円)	FY2023	FY2024	増減率
売上高	293	347	118.4%
粗利額	106	120	113.2%



## DM事業部門

ECチャネル専用品開発・ロイヤルユーザーの育成  
大手プラットフォームでの新規顧客獲得による売上拡大

(単位：百万円)	FY2023	FY2024	増減率
売上高	122	129	105.7%
粗利額	67	77	114.9%

## 海外事業部門

カカオ豆の安定供給に向けた取り組み継続  
サステナブル原料の取り組み事例拡大

(単位：百万円)	FY2023	FY2024	増減率
売上高	17	18	105.9%
粗利額	17	18	105.9%



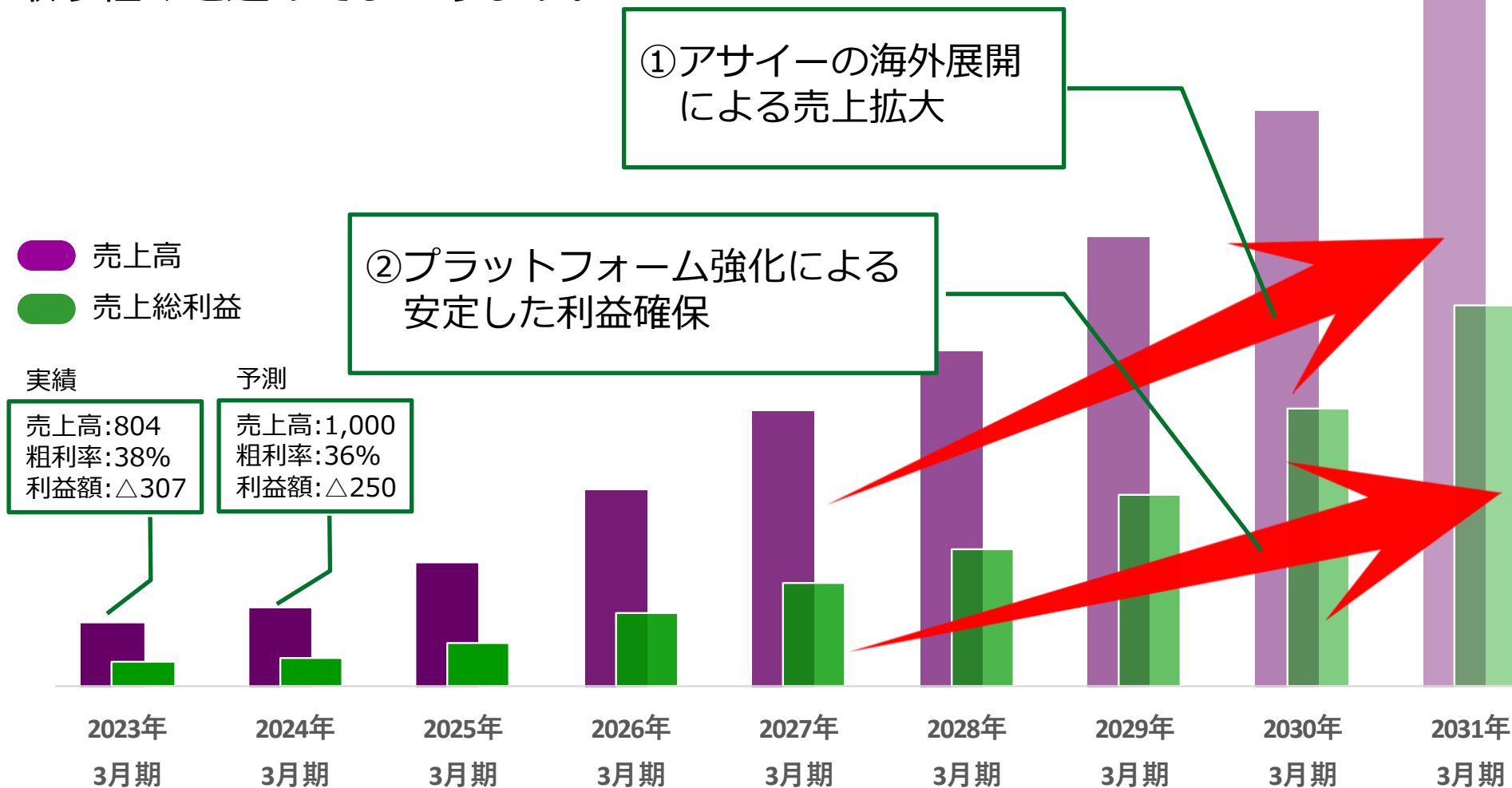
# 2024年3月期の業績予想



**FRUTA FRUTA**  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

(単位：百万円)	FY2023 (実績)	FY2024 (予想)	対前期増減額
売上高	804	<b>1,000</b>	196
営業利益	△ 312	△ <b>250</b>	62
経常利益	△ 307	△ <b>250</b>	57
当期純利益	△ 308	△ <b>250</b>	58
1株当たり当期純利益	△ 10.41	△ <b>8.44</b>	1.97

アサイーの海外展開により売上拡大を図ると共に、プラットフォームでは安定した売上・利益を確保することで、中長期的な利益体質強化に向けた取り組みを進めてまいります。



# 短期計画における資金調達の取り組み



当社は、2023年4月5日の取締役会において、将来的な売上拡大に備えた資金需要の確保と成長投資の実行を目的としてEVO FUNDに全額を割り当てる無担保社債を発行することを決議しております。

\*詳細につきましては、2023年4月10日開示の「無担保融資ファシリティー契約の終了並びに無担保社債(私募債)発行に関するお知らせ」を参照下さい。

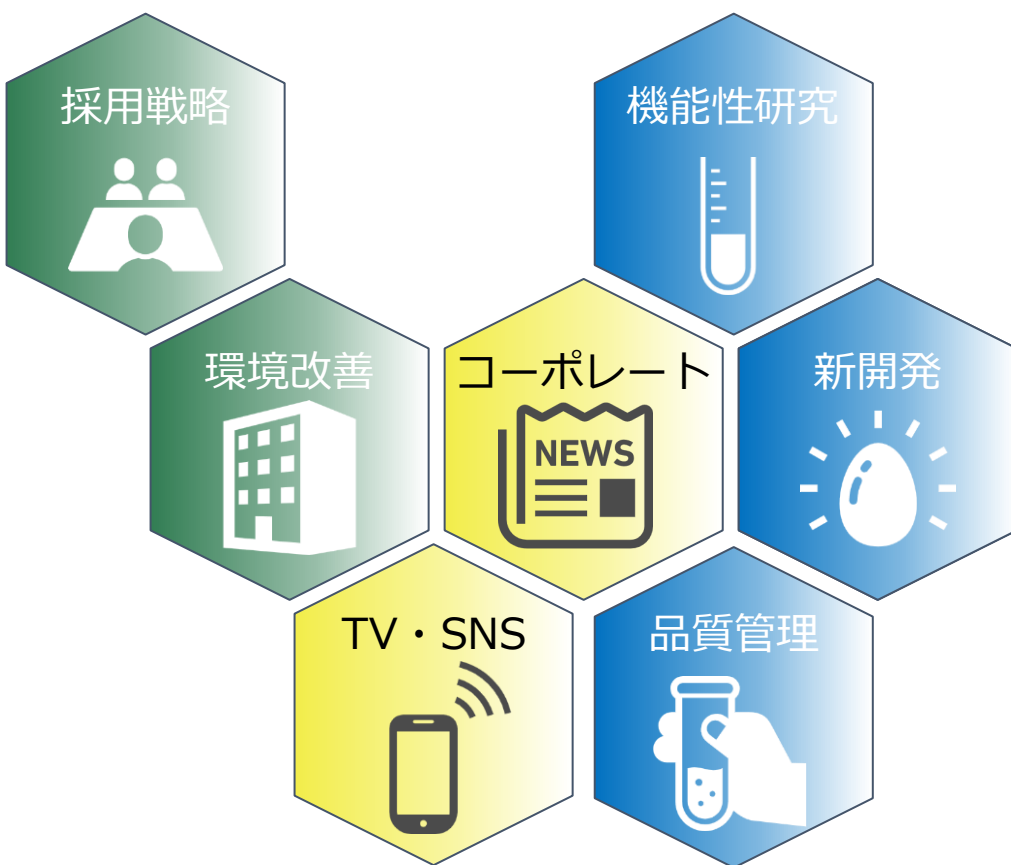
私募債発行の概要	
① 銘柄	株式会社フルッタフルッタ第1回無担保社債（適格機関投資家限定）
② 発行総額	300,000千円
③ 社債の利率	年利1.0%
④ 発行価額	額面100円につき100円
⑤ 発行日	2023年4月7日
⑥ 償還期限	2025年4月6日
⑦ 償還方法	額面100円につき100円
⑧ 募集の方法	EVO FUNDに全額を割り当てる

# 短期計画における資金調達の取り組み



**FRUTA FRUTA**  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

先に記載の社債発行は、以下の成長投資の実行を目的としております。



## 人材獲得

効果的に優秀な人材を見極め、引き付けるための採用戦略を策定。社内環境の改善整備で定着を図る。



## プロモーション

TVCMの広告導入やSNSマーケティングの活用による知名度向上。コーポレートブランディングの強化。



## 研究開発

アサイーの機能性研究を継続。アマゾンフルーツの品質を保ちつつ、アプリケーションの開発も実施。

# 中長期計画における成長投資



FRUTA FRUTA  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

事業の成長のために、EVO FUND及び長澤氏による新株予約権の行使で調達した原資\*をもとに、海外事業展開、プラットフォーム構築を中心に約63億円の投資を行うことで、アサイーを中心としたアマゾンフルーツの拡売、アグロフォレストリーの認知拡大を図ります。

\*詳細につきましては、2023年11月13日開示の「第11回乃至第13回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行、第14回及び第15回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行並びに定款の一部変更に関するお知らせ」を参照下さい。

投資期間：～2031年3月期まで（予定）

アサイーの  
海外事業展開

約45億円  
投資



- ・生産拠点、生産設備、倉庫の確保
- ・アジアでの出店費用
- ・アジア向けの原材料の調達
- ・アジアにおける需要拡大・販売促進
- ・アサイーの造血機能研究・PR
- ・システム再構築・海外人材獲得

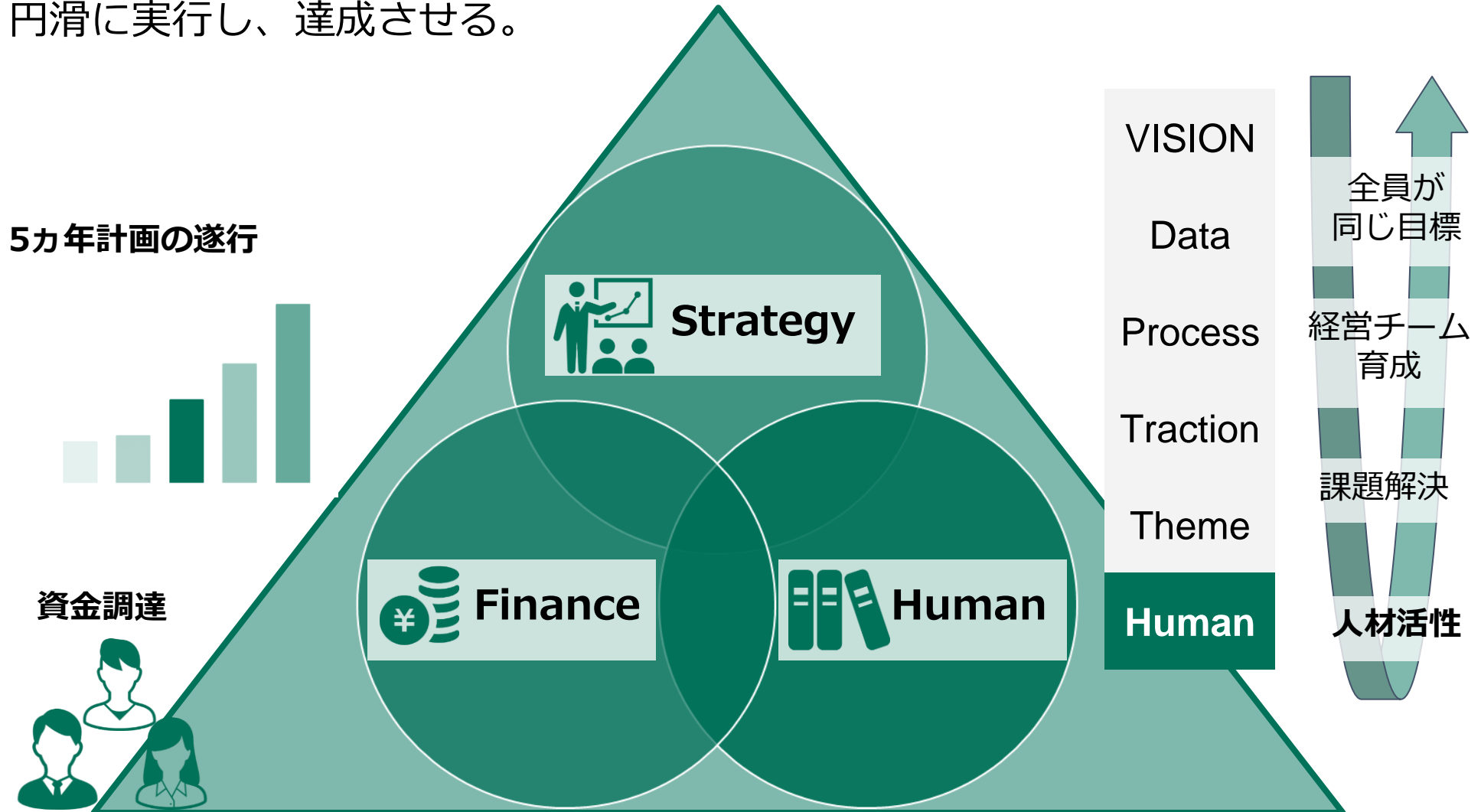
プラットフォーム  
構築

約18億円  
投資



- ・プラットフォーム構築、維持
- ・サステナビリティ関連PR
- ・貿易代行M&A・資本業務提携
- ・IT、環境人材の獲得、育成

資金調達の取組みに、経営戦略と人材戦略の連動を図り、5ヶ年計画を円滑に実行し、達成させる。



## 第10回新株予約権による資金調達額及び充当額、2023年11月13日時点で以下のとおりとなっております。

調達予定額は1,885百万円を予定しておりますが、2023年11月13日時点での調達額は、1,683百万円となっております。充当状況につきましては下記のとおりとなります。また、資金調達額と充当額の差額55百万円につきましては、資金需要のあるものから充当するものとしております。

(単位：百万円)

資金使途	調達予定額	資金調達額	充当額	未充当額
業務効率化等	50	1,683	10	55
広告宣伝、販売促進、営業支援	400		257	
人材獲得、人材育成	100		94	
運転資金（経常取引増加に対応）	100		100	
アサイー造血機能性の臨床研究等	100		32	
アサイー原材料の仕入れ 他	217		217	
金融機関からの借入返済	918		918	
<b>合計</b>	<b>1,885</b>	<b>1,683</b>	<b>1,628</b>	<b>55</b>

## 第11回乃至第15回新株予約権（以下、本新株予約権）による資金調達予定額及び使途の詳細は、2023年11月13日時点で以下のとおりとなっております。

調達予定額は6,304百万円を予定しております。なお、本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額は、当初行使価額で全ての本新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額であります。行使価額が修正又は調整された場合には、本新株予約権の行使に際して出資される財産の額が変動する結果、調達予定金額は増加又は減少する可能性があります。また、本新株予約権の行使期間中に行使が行われない場合及び当社が取得した本新株予約権を消却した場合にも、同様に調達予定金額は減少する可能性があります。

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① アサイーのアジアを中心とした海外事業展開関連費	4,514	2024年1月～ 2031年3月
② サステナブルマッチングプラットフォーム構築関連費用	1,790	2024年4月～ 2031年3月
合計	6,304	



# 調達する資金と使途の詳細



**FRUTA FRUTA**  
FUTURE FRUTA WITH YOU 2023

## ① アサイーのアジアを中心とした海外事業展開関連費用 (注3)

具体的な使途	金額 (百万円)
① 生産拠点及び生産設備並びに倉庫の確保の費用	1,500
② アジアでの出店費用	1,000
③ アジア向けの原材料の調達費用	304
④ 普及活動及びプロモーション費用	500
⑤ 機能性研究及び臨床研究等	150
⑥ 造血機能性のプロモーション、マーケティング費用	350
⑦ アサイーを含むアマゾンフルーツをプラントベースフードに応用する研究	150
⑧ 特定の症状に対する効能等のプロモーション、マーケティング費用	350
⑨ 業務システムの更新、物流再構築	120
⑩ 人材獲得及び人材教育費	90
<b>合計</b>	<b>4,514</b>

## ② サステナブルマッチングプラットフォーム構築関連費用 (注3)

具体的な用途	金額 (百万円)
① プラットフォームの構築及び維持 (注1)	200
② サステナブルマッチングプラットフォームのプロモーション活動	500
③ M&A・資本業務提携費用 (注2)	1,000
④ 環境人材の獲得・育成費用	90
<b>合計</b>	<b>1,790</b>

- (注) 1. 利用企業数やユーザー数、利用料や開始時期などは現時点で未定です。  
また、現時点では本事業を別個で報告セグメントとするような規模までは想定しておりませんが、中長期的に当社の業績向上に資するものと考えております。
2. プラットフォームを通じた取引が輸出入を伴う場合に関して、販売者及び購入者の輸出入手続を代行し、円滑な取引をサポートしたいと考えており、貿易代行のノウハウを有する企業1社と、プラットフォーム稼働後5年以内を目途としてM&A・資本業務提携を行い、そのようなサポートの体制を備えたいと考えております。
3. 今後の具体的な計画やその進捗については、事業計画及び成長可能性に関する事項にて開示してまいります。



## 6. リスク情報

成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性のある、主なリスク及び対応策は以下の通りです。

	リスク情報	顕在化の可能性 / 時期	顕在化した場合の影響度	対応方針
アマゾンフルーツの仕入れのCAMTA依存について	<p>当社のCAMTAからの仕入比率は、製品売上の7割以上、商品売上の9割以上。当社事業活動は、CAMTAからの仕入を前提として行われています。</p> <p>原材料価格の引き上げ、本地域における自然災害などで、CAMTAから計画通りに仕入が出来ない場合、当社の事業に影響を与える可能性があります。</p>	中/中長期	中	<p>アグロフォレストリーの特徴である多様性栽培により、特定作物の被害を他の作物で充当することが可能です。</p> <p>非常時に対応可能な最低限の安全在庫計画により、原料の確保、製品の備蓄を実行し、不測の事態にも在庫確保を務めます</p>
為替相場の変動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社は、CAMTA及び海外OEM工場への製商品代金の支払いはドル建てで行っており、為替相場の変動の影響を受けます。</li> <li>為替相場の変動が短期間に乱高下した場合には、当社の事業に影響を及ぼす可能性があります。</li> </ul>	高/短中期	高	<p>ドル調達の実施を検討しています。</p> <p>最低限の値上げ対策を検討します。</p>



## 免責事項

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

当社が入手可能な情報の正確性に依拠し、それを前提として作成しております。

また、将来に関する記述が含まれている場合がございますが、実際の業績はさまざまなリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは異なる場合がございます。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

E-Mail : [ir@frutafruta.com](mailto:ir@frutafruta.com)

<http://www.frutafruta.com>

次回の本開示は2024年6月頃を予定しております。



自然と共に生きる